

II きらきらと輝く人が育つまち

教育相談事業

(担当:教育部 学校教育課 課長:宮良 泰子)

○教育相談事業

2,602万円

児童生徒の心の悩みや不安などをじっくり聞き、その問題解決にあたるため、南風原町教育相談支援センター(心の教室)を設置し、青少年教育相談員を配置します。

また、児童生徒が悩み等を気軽に話せ、ストレスを和らげることができるよう第三者的な存在として各学校に心の教室相談員(6名)を配置し、学校や関係機関と連携をとりながら、不登校や児童虐待など、児童生徒を取り巻く問題に対して速やかに対応します。

特別な支援を要する児童生徒については、特別支援教育相談員を配置し、就学相談等の保護者の支援に取り組みます。

さらに、学校に作業療法士を派遣し、児童生徒の多様性に対応した学習環境を構築し、不登校の未然防止に取り組むとともに、中学校には、不登校の生徒の支援として適応指導教室、自立支援教室を設置し学習支援員を配置します。

主な経費	教育相談員・学習支援員報酬等	1,419万円
	心の教室相談員謝礼金	634万円
	作業療法士派遣委託料	512万円
	消耗品費・電話代・保険料	37万円

ご相談はこちらまで 南風原町教育相談支援センター

○青少年教育相談員 : 城間 明

○心の教室相談員 : 中村 正枝・濱里 苗美・永吉 瑞乃
伊井 智子・矢野 朋子・上村 康代

○特別支援教育相談員 : 嘉数 栄子

場 所 南風原町総合保健福祉防災センター(ちむぐる館)内

電 話 番 号 098-889-0501

※ お気軽にご相談ください。

地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育

子ども平和学習交流事業

(担当:教育部 生涯学習文化課 課長:野原 学)

○子ども平和交流事業

113万円

町内の小学校6年生を対象に、戦争や平和、差別や人権についての学習を深めるための事業です。主に、本研修の旅費や宿泊費などの経費に使われます。数回の事前学習の後、広島原爆、アジアの戦争、世界で起きている戦争、ホロコーストについて、そしてハンセン病についての学習のため広島、大阪、京都に出かける予定です。

1. 事前研修

①学習会

南風原の戦争の実態、沖縄戦やアジアの戦争、学童疎開について、ビデオや文献、体験者のお話を聞いたりして勉強します。また広島原爆、ハンセン病などについて数回にわたって学習します。



←文化センターでの平和学習

②巡検

町内、町外の戦跡めぐりに出かけます。



←ガイドさんの案内で戦跡を見学

③宿泊学習

名護市の屋我地にある「愛楽園」を訪ね、交流会館の中の資料館見学や元患者からハンセン病の話、差別についての話など、体験を通して学習します。



←愛楽園交流会館にて 平良仁雄さんのお話を聞く
(令和3年度は新型コロナの影響で日帰り研修に変更)

地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育

④ 報告会・激励会

学習したことはグループで協力してまとめ、ご家族や役場の皆さん、先生方に報告発表します。



▲令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大により、オンライン動画で報告

2. 本研修

3泊4日の予定で広島、大阪、京都を訪ねます。県内外の施設や活動している人、戦争の体験者、講師の方にお会いして現地の実態を勉強したり意見を交換して、平和や人権の学習を深めます。

●令和3年度の本研修の様子(新型コロナウイルス感染拡大防止のため県外研修は中止)



▲広島原爆についてのオンライン講義

▲ホロコースト記念館リモート訪問(各自宅から参加)



▲北谷町の米軍上陸の碑の前で



▲平和の礎を見学

経費内訳	引率旅費(職員、引率教諭特別旅費等)	19万円
	平和学習ガイド、講師謝礼金等	10万円
	施設使用料	1万円
	補助金(生徒8人)	83万円

地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育

国際交流事業(育英会)

(担当:教育部 生涯学習文化課 課長:野原 学)

○国際交流事業(育英会)

475万円

町内の青少年リーダーを海外に派遣し、教育・文化・歴史・産業などの視察学習、現地のミドルスクール(中学校)体験入学やホームステイを行っています。この事業では、国際的視野を広めるとともに、ホームステイ先の家族らとの友情を深め、国際時代に柔軟に対応できる青少年を育てることを目的としています。この事業は平成5年度からスタートし、訪問先はアメリカ合衆国ハワイ州と町の友好都市であるカナダ国レスブリッジ市で交互に行っています。今年はアメリカ合衆国ハワイ州へ中学生(10名)を派遣します。

主な経費

国際交流事業に参加する生徒への育英会補助金 475万円

1. 事前研修

訪問国の教育・文化・歴史等について勉強します。また、南風原町についての調べ学習、英会話レッスン、および現地で発表する踊りなどを事前研修にて練習します。



出発式の様子

2. 本研修

訪問先では、教育・文化・産業施設等の現地視察及びミドルスクール(公立中学校)への体験学習を通して同世代の子と交流をしています。またホームステイも実施しています。



授業の様子



アロハパーティでホスト集合

3. 事後研修

本研修で学んだ事を日本語と英語で報告書を作成します。また、育英会長・保護者・学校関係者・事前研修講師等に向けて報告会も開催しています。

本研修報告→



地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育

放課後子ども教室推進事業

(担当:教育部 生涯学習文化課 課長:野原 学)

○放課後子ども教室推進事業

283万円

各小学校区において、放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して行われます。地域の方々が子どもたちとひとしよに勉強やスポーツ・文化活動を行うことで、地域住民の交流の場を創り、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。

主な経費

謝礼金(コーディネーター、協働活動サポーター、講師) 271万円

消耗品費 4万円 保険料等 8万円



ネイチャーゲーム



機織り体験

地域学校協働活動推進事業

(担当:教育部 生涯学習文化課 課長:野原 学)

○地域学校協働活動推進事業

638万円

地域の学校支援ボランティアが、町内各小・中学校の依頼に応じた学校支援活動を展開することで、子どもたちは多様な体験ができ、学校教育の充実を図ります。また、地域住民が自らの経験や知識を子どもたちの教育に生かし、地域のきずなづくりにつなげることで、地域の教育力向上を図ります。

主な経費

謝礼金(実行委員、コーディネーター(5名)) 587万円

ボランティア懇親会費 18万円 印刷製本費 11万円 役務費等 22万円



学習支援の様子



クラブ活動支援の様子

地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育

はえばる大学運営事業

(担当:教育部 生涯学習文化課 課長:野原 学)

○はえばる大学運営事業

13万円

生涯学習の一環として広く仲間づくりを行いながら、自主的な学習活動の支援を行うことを目的に大学を設置。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりましたが、令和4年度は南風原町に関するカリキュラムを計画し4期生を募集します。

主な経費

謝礼金(講師、運転手)	10万円
消耗品費	2万円
燃料費	1万円



陸軍病院壕公開活用事業

(担当:教育部 生涯学習文化課 課長:野原 学)

○陸軍病院壕公開活用事業

356万円

陸軍病院壕公開活用事業は、見学者の受付や日々の安全確認を行う管理人の報酬費、壕内の安全管理のための委託料など、陸軍病院壕の公開活用のための予算です。

南風原町は、平成2(1990)年に太平洋戦争(沖縄戦)時の“負の遺産”である「沖縄陸軍病院南風原壕」を全国に先駆けて町の文化財(史跡)に指定しました。戦争体験者が減少していく中、沖縄戦の記憶を後世に伝える「生き証人」としての壕を保存していくことがその目的でした。

文化財指定の後、平成19(2007)年には20号壕の一般公開を開始しました。ガイドの案内で壕内に入り、そこで起きた出来事を聞き、暗闇や空気を感じる体験を通して、戦争の悲惨さや愚かさ、平和を創造することの大切さを学ぶことができる場として活用しています。

令和3年度は、新型コロナウイルス対策に必要な換気を行うと壕内の風化が進んでしまうことを考慮し、屋外で見学可能な戦跡の案内を中心に活用を行いました。

また、陸軍病院壕を案内する平和ガイドでつくった団体「南風原平和ガイドの会」のこれまでの活動が評価され、沖縄県及び沖縄タイムス社から表彰を受けました。

地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育

主な経費

1. 報酬 204万円
・見学者の受付や壕内に設置されている観測機器の計測、ガイドのスケジュール調整等を行う管理人の報酬などです。
2. 職員手当等および旅費 55万円
・管理人の期末手当および交通費などです。
3. 需用費 43万円
・見学者に配布するリーフレット作成費や設備の修繕料、電気料金などです。
4. 役務費 1万円
・見学者の安全を確保するための保険料です。
5. 委託料 50万円
・壕内の臭気再現および見学者の安全を管理するための設備管理委託料です。
6. 使用料 3万円
・壕の安全を管理するためのデータ作成に必要な機材の使用料です。



沖縄タイムス社での表彰式



平和ガイド養成講座(第11期)の様子

地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育

公民館活動の充実事業

(担当:教育部 生涯学習文化課 課長:野原 学)

○公民館活動の充実事業

3,354万円

生涯学習の活動拠点として公民館学級講座、サークル活動及び各種社会教育団体等の充実発展を目指して事業を展開いたします。

又、設備の機能強化された黄金ホールをフルに活用し、保育園・幼稚園から高校・大学等の教育活動の発表会や音楽・芸能・舞踊などの発表の場として、利用者・来場者の期待に応える施設作りを目指して参ります。

主な経費

公民館長報酬	136万円
管理員報酬	230万円
管理事務員報酬	181万円
清掃員報酬	173万円
光熱水費	702万円
冷房管理委託料など施設の管理委託費	1,596万円
他、コピー機使用料など事務経費	336万円

公民館講座事業

(担当:教育部 生涯学習文化課 課長:野原 学)

○公民館講座事業

100万円

令和3年度は新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら8つの講座を開催し、93人が受講しました。幅広い年齢層に対応できるよう毎年趣向をこらして開催しております。

また、各字公民館でも出前講座を4回開催し、41人が参加しております。令和3年度は開催できませんでしたが、毎年2月には「公民館まつり」を行い、自治会講座の皆さんや、公民館サークル会員が日頃の練習の成果を発表しています。

町広報紙やホームページ、公民館学級講座のパンフレットをご覧になり、お気軽にお申し込みください。

主な経費

公民館講座講師謝礼金	100万円
------------	-------

♪ 令和3年度の公民館講座 ♪

島ぞうりアート講座、結書、整理収納講座(断捨離・終活)、おうちパン(簡単パン)、琉球かれん(和音楽器)、免疫力が上がる健康法、スマートフォン講座、かりゆし塾(全8講座)



島ぞうりアート講座



おうちパン(簡単パン)講座



結書講座

学校給食用材料に係る経費

(担当:教育部 教育総務課 課長:比嘉 純子)

○学校給食用材料に係る経費

2億8,609万円

学校給食費は、幼稚園児月額3,200円(一人当たり、一食220円)、小学生月額4,500円(一人当たり、一食248円)、中学生月額5,000円(一人当たり、一食275円)の11カ月分の給食費を徴収しています。また、一食あたりの平均栄養基準は、幼児490kcal、小学校650kcal、中学校830kcalになっています。

学校給食共同調理場では、総合的な安全管理を基本に、常に児童、生徒等に安全・安心でおいしい給食を提供するためにできる限り県内産、町内産を利用するように努めています。

平成25年度から開始した幼稚園給食(5歳児)に続いて平成28年度には、4歳児の給食も開始し令和3年5月1日時点の食数は5,689食となっています。



▲給食センターの見学



▲人気のうっちんライス献立

調理場施設維持管理事業

(担当:教育部 教育総務課 課長:比嘉 純子)

○調理場施設維持管理事業

2,097万円

園児・児童・生徒のみなさんからの給食費は、すべて給食の材料費として使っています。給食を作るためには調理場の電気代、水道料金、ガス代、食器を洗う洗剤等消耗品代などの経費が必要になります。また、平成27年度からは、調理員等の通常検便に加えてノロウイルスの検査も実施して食中毒等の重大事故を発生しないようさらに衛生安全も徹底しています。

主な経費	ボイラー用等燃料代	567万円
	光熱水費	879万円
	その他(消耗品等)	651万円

個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育

学校給食共同調理場にはこんな機械があります

ガススチームコンベクションオーブン:スチームやオーブン等で調理する機械です。

食缶類洗浄機 : 2本のレーンで、高さの異なる食缶などを超高压水で洗浄します。

食器類洗浄機 : 食器の洗浄、整理まで自動処理します。スプーンなども自動洗浄します。

消毒保管庫 : 食器や食缶の消毒効果を高めるため、蒸気で温熱殺菌した後保管します。

高速ミキサー : 液体の攪拌・混合作業、タレ作りなどの機械。

自動フライヤー : 揚げ物によって、油温を調節し、美味しく調理することができます。



▲食器類洗浄機



▲フライヤーでの作業

就学奨励事業

(担当:教育部 学校教育課 課長:宮良 泰子)

1億1,045万円

○就学奨励事業

経済的な理由等で児童生徒の学校生活が円滑に行われなかったことがないよう、対象となる小・中学校の児童生徒の保護者に学用品費、修学旅行費、学校給食費などの援助を行っております。この事業には国からの補助金も含まれており、内訳は下記に示したとおりとなっております。

主な経費

要保護準要保護児童生徒援助費 1億843万円

特別支援教育就学奨励費 202万円

【内訳】

国庫補助金 113万円

町負担分 1億932万円



幼稚園就園援助事業

(担当:教育部 学校教育課 課長:宮良 泰子)

○幼稚園就園援助事業

300万円

町立幼稚園に通う園児の幼稚園生活が円滑に行われるように、生活保護世帯及びその援助の対象となる園児の保護者に対し、預かり保育にかかるおやつ代を町が援助を行います。

主な経費

幼稚園就園援助費 300万円



幼稚園にかかる経費(各幼稚園経費除く)

(担当:教育部 学校教育課 課長:宮良 泰子)

○幼稚園全体にかかる経費

11,366万円

南風原町では、平成28年度より各幼稚園で4歳児保育を開始し、2年保育を実施しています。

主な経費

園長・学校医等に係る費用 1,173万円

幼稚園教諭、事務等会計年度任用職員に係る費用
2,807万円

○預かり保育事業



幼稚園の教育時間終了後、共働き等の保護者ニーズに応え預かり保育を実施しています。予算としては、会計年度任用職員等の経費を計上しています。

土曜預かりも2園合同で行っています。

また、預かり保育は、平成27年度より子ども・子育て交付金の「一時預かり事業」となり、国から一部補助金を受けています。

主な経費

預かり保育会計年度任用職員報酬等 7,386万円

幼稚園にかかる経費

(担当:教育部 学校教育課 課長:宮良泰子)

○各幼稚園にかかる経費

1,877万円

町内4幼稚園の園児たちが安心して幼稚園での生活が送れるように施設の維持や教材費にかかる経費となっています。建物の修繕費、電気・水道などの光熱費、行事で使う事務用品代を支出しています。

主な経費

南風原幼稚園	479万円
津嘉山幼稚園	532万円
北丘幼稚園	487万円
翔南幼稚園	379万円



英会話教育の充実

(担当:教育部 学校教育課 課長:宮良 泰子)

2,242万円

○英会話教育の充実

1. 中学校での英会話教育

国際理解教育の一環として、英語を母国語とする外国人とのコミュニケーションにより英語に親しみ、また国際社会で使える英語を習得させることを目的として、南風原中学校、南星中学校にそれぞれ1名の外国人英語指導助手(ALT)を配置します。

主な経費

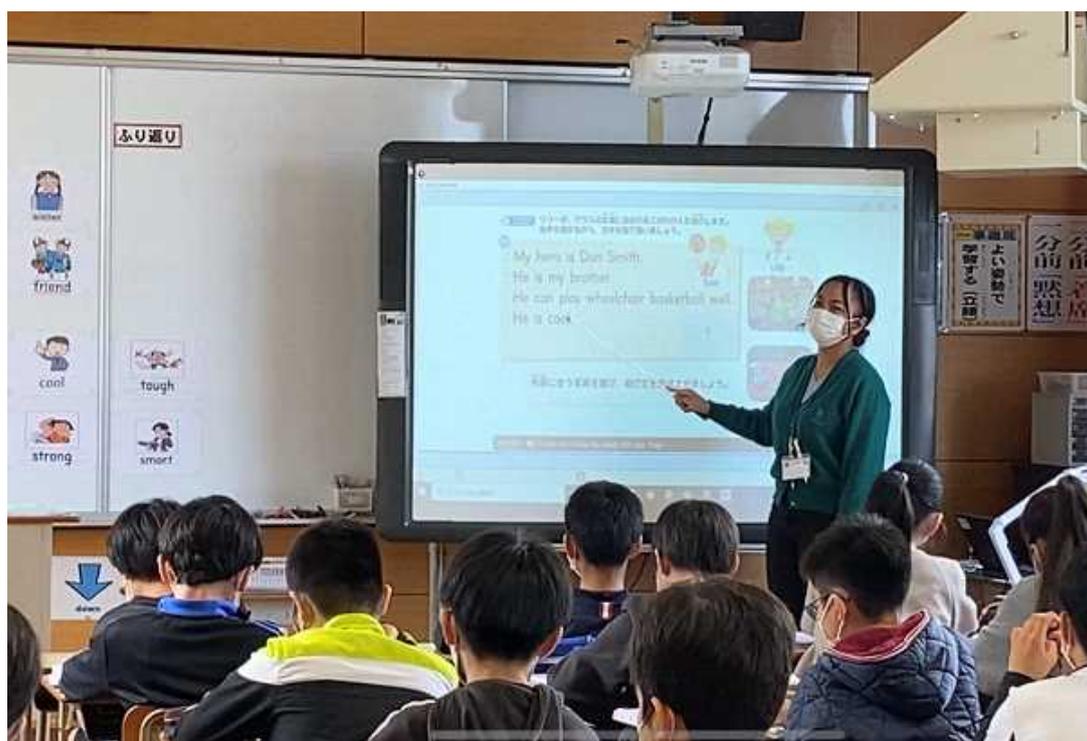
外国人英語指導助手報酬(諸手当含む) 801万円

2. 小学校での英会話教育

町では、いろいろな国を学ぶための学習のひとつとして、英語教育活動を行い、児童が英語に触れたり、外国の文化に慣れ親しむ体験活動を行っています。そのために、町内にある4つの小学校に、英語に関する専門的な知識をもった6名の日本人の英語指導助手(JTE)を配置します。

主な経費

小学校英語指導助手報酬(諸手当含む) 1,441万円



小学校英語指導助手(JTE)の指導風景

学校教育事業

(担当:教育部 学校教育課 課長:宮良 泰子)

○学校教育事業

2,981万円

学校教育課が管理する小・中学校や幼稚園に関する経費で、町内全ての学校で共通して必要な事に使います。例えば、小中学校のパソコンのサーバーの保守管理委託料やPCソフトライセンス使用料、廃棄物収集運搬委託料などの費用を支出しています。

主な経費

学校情報推進員報酬	430万円	サーバー使用料	135万円
パソコン保守管理委託料	442万円	町学力向上推進委員会補助金	130万円
ライセンス使用料	102万円	その他の経費	1,280万円
島尻地区教育研究所負担金	462万円		



▲令和3年度教育長表彰の様子

特別支援教育支援員(ヘルパー)配置事業

(担当:教育部 学校教育課 課長:宮良 泰子)

○特別支援教育支援員配置事業

8,864万円

発達障害や肢体不自由などの障がいを持った幼児・児童・生徒が町内の幼稚園や小学校、中学校に通園・通学しています。障がい児一人ひとりの教育を保障し、自立して生きていくことのできる力を育むことが重要となっています。

その幼児・児童・生徒達が安心・安全に学校生活を送ることができるよう支援するため、特別支援教育支援員を配置し、始業時から下校時までの間を支援しています。令和4年度は、幼稚園に25名、小学校に20名、中学校に6名を派遣します。

主な経費 (内 訳)	幼稚園	3,895万円
	小学校	3,817万円
	中学校	1,152万円



学力調査事業

(担当:教育部 学校教育課 課長:宮良 泰子)

○学力調査事業

431万円

1 事業の目的

学力調査等により個々の学力を把握することで、一人ひとりの課題を明確にし、学習の目的意識の醸成をはじめ、「わかる授業」の強化や家庭学習の習慣化を通して「確かな学力」の向上に繋げる。

2 事業内容

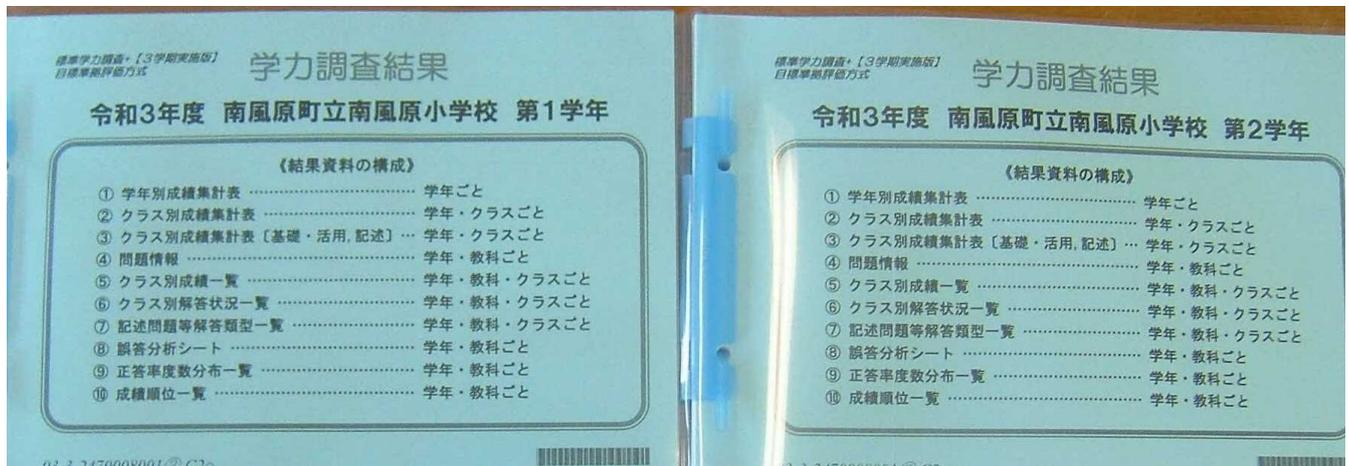
- ①標準学力調査 小学校4校 2年:国語・算数
- ②学力調査の実施 中学校2校 3年:国語・数学・理科・社会・英語
- ③リーディングスキルテストの実施 小学校4校 6年、中学校2校 1年～2年
- ④外部講師による公開授業等の実施

3 経費(委託費) 431万円

I 学力調査委託料 402万円

- ① 標準学力調査(小学2年) 42万円
- ② 学力調査(中学3年) 73万円
- ③ リーディングスキルテスト(小学6年、中学1～2年、教員) 287万円

II 講師委託料 29万円



学校ICT推進事業

(担当:教育部 学校教育課 課長:宮良 泰子)

○学校ICT推進事業

1,001万円

学校においてパソコン等のICT機器を充実させ、機器を活用した授業の機会をつくるなど、魅力ある授業を行うことで、学力向上を図ります。

令和4年度は、学校ICT支援員1名の委託を行います。

また、新たにクラスが増える学校へ、電子黒板一式の整備を行います。

主な経費

○ICT支援員委託料 666万円

- ・小学校費 444万円
- ・中学校費 222万円

○備品購入費 335万円

- 電子黒板一式
- ・小学校費 335万円



▲R3年度導入した液晶モニター型電子黒板



▲電子黒板を使ったオンライン授業の様子
※サッカーJ1「名古屋グランパス」の専属栄養士によるオンライン食育授業を翔南小学校の6学年で一斉に行いました。

学校ICT環境整備事業

(担当:教育部 学校教育課 課長:宮良 泰子)

○学校ICT環境整備事業

1,423万円

文科省が提唱する「GIGAスクール構想の実現」に向け整備した、各学校の校内通信ネットワークや児童生徒一人一台端末を活用し、遠隔授業や動画配信など様々な授業スタイルに対応した環境を維持していきます。

令和4年度は、ネットワーク保守の委託や授業で使用するアプリケーションなどのライセンス購入を行います。

主な経費

○役務費(通信運搬費)	52万円
・小学校費	35万円
・中学校費	17万円
○委託料	317万円
校内通信ネットワーク保守委託料	
・小学校費	211万円
・中学校費	106万円
○使用料及び賃借料	1,054万円
ライセンス使用料	
・小学校費	519万円
・中学校費	535万円



▲各教室へ配置した
児童生徒一人一台端末

個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育

小学校(学校管理費・教育振興費)

(担当:教育部 学校教育課 課長:宮良 泰子)

○小学校(学校管理費・教育振興費)

9,867万円

町内にある4小学校(南風原小学校、津嘉山小学校、北丘小学校、翔南小学校)の子どもたちが安心して学校生活を送れるように、学校設備の維持・管理及び各教科やクラブ活動などにかかる経費となっています。学校管理費として、学校で使う電気・ガス・水道の光熱水費の費用、学校施設の修理などの費用に使われます。また教育振興費として、各教科で使う教材や備品などの費用として使われ、例えば音楽で使う鉄琴や特別支援学級で使うジャンピングシェイプなどを購入する経費となっています。

南風原小学校にかかる経費 2,460万円

北丘小学校にかかる経費 2,694万円

津嘉山小学校にかかる経費 2,684万円

翔南小学校にかかる経費 2,029万円



▲令和3年度に購入した教師用椅子(管理)とジャンボリングゴール(体育)

中学校(学校管理費・教育振興費)

(担当:教育部 学校教育課 課長:宮良 泰子)

○中学校(学校管理費・教育振興費)

5,449万円

町内にある2中学校(南風原中学校、南星中学校)の生徒たちが安心して学校生活を送れるように、学校設備の維持・管理及び各教科の教材などにかかる経費となっています。

学校管理費として、学校で使う電気・ガス・水道の光熱水費の費用、学校施設の修理などの費用に使われます。また教育振興費として、各教科で使う教材や備品などの費用として使われ、例えば社会で使う地球儀や体育で使うハンドボールゴール、サッカーゴールなどを購入する経費となっています。また、各種大会で優秀な成績を納めた生徒たちを県大会や九州大会などへ派遣する費用も支出しています。

南風原中学校にかかる経費 3,013万円

南星中学校にかかる経費 2,436万円



▲令和3年度に購入した机・椅子セット（管理）と譜面台（振興）

学習支援員等配置事業

（担当：教育部 学校教育課 課長：宮良 泰子）

○学習支援員等配置事業

3,031万円

町立小・中学校に学習支援員を2名ずつ（計14名）配置し、学習支援を必要とする児童生徒に対して、同支援員を活用し基礎学力を定着させます。また、教育相談事業においても、町立中学校（2校）へ適応教室指導員、自立支援教室指導員（各1名ずつ）の学習支援員を配置しています。

主な経費

小学校	2,015万円
中学校	1,016万円



学習支援員による指導風景

幼稚園体育活動充実事業

(担当:教育部 教育総務課 課長:比嘉 純子)

○幼稚園体育活動充実事業

190万円

各町立幼稚園の5歳児、4歳児を対象とし、幼少期に運動する楽しさを実感してもらうことによりその後の運動習慣を身につけるため、専門的な知識を持つ講師による体育指導を実施します。

主な経費 幼稚園体育活動充実支援委託料 190万円



【バルーン遊び】



【鉄棒】

南風原町立4幼稚園 逆上がり・跳び箱3段習得者数一覧表(令和3年度実績)

幼稚園5歳児数	355人		
逆上がり習得者数	101人	逆上がり習得割合	28.5%
跳び箱3段習得者数	251人	跳び箱3段習得割合	70.7%
体育遊びが好きな人	349人	体育遊びが好きな割合	98.3%

北丘小学校体育館等整備事業

(担当:教育部 教育総務課 課長:比嘉 純子)

○北丘小学校体育館等整備事業

5億1,473万円

北丘小学校は、昭和57年に建築され築40年が経過し、普通教室等は、平成25年度に大規模改造による整備がおこなわれたものの、体育館とプール施設等に整備は行われておりませんでした。現在、体育館やプール施設の建物等についても、経年による劣化などが進んでいる状況があり、体育館については、改築(建替)・プール施設については、改修を実施します。

主な経費

北丘小学校体育館等整備事業	5億1,473万円
工事費	5億160万円
委託費	1,313万円

事業概要

R2年度	耐力度調査委託業務
R3年度	実施設計委託業務
R4～5年度	整備工事

【内訳】

県支出金	
(沖縄振興公共投資交付金)	1億6,694万円
町債(町の借金)	2億7,870万円
一般財源	6,909万円

完成予想図



